

基礎英語講読Ⅱ

2 units (required selection (B)) 2nd-year(2nd semester)

Masaki Ohnuma · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF MATHEMATICAL AND MATERIAL SCIENCES, Zenro Hioki · PROFESSOR / DEPARTMENT OF MATHEMATICAL AND MATERIAL SCIENCES

Kazuhiro Makabe · W. · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) 英文で書かれた科学文献を読み、その内容を的確に読み取る力を養う。

Outline) 科学文献を読む際には「何がどこまで分かっているのか」、「現在、何が未解明の問題なのか」、「どのような方法で得られたどのような結果から、何がどの程度の確度で分かったのか」、「その研究に潜む問題点は何か」、「今後どのような研究を続行すべきなのか」などを的確に理解することが大切である。この授業では、自らの研究を通じて科学の英語に接している教員(大沼・日置・真壁)が、それぞれの研究分野(数学・物理学・生命科学)から題材を集め、英語で書かれた文献に対して上記のような力を養うべくトレーニングを行う。

Fundamental Lecture) “**数理学の基礎Ⅰ**”(1.0), “**Foundation of physical science**”(1.0), “**化学の基礎**”(1.0), “**生命科学の基礎**”(1.0), “**地球科学の基礎**”(1.0)

Notice) この講義においては、他の講義科目以上に出席・受講態度も重要な評価ポイントになります。

Goal) 外国語の基本的運用能力の養成、およびそれを通じての国際感覚の醸成と論理的文章を理解し書く能力の養成

Schedule)

1. 概要説明と受講上の注意 (大沼・日置・真壁)
2. 大沼 1: 数字の読み方
3. 大沼 2: 数式の読み方
4. 大沼 3: 図形の表現
5. 大沼 4: 数(自然数, 実数等)について
6. 大沼 5: 近似および少数表示について
7. 大沼 6: 平面上の曲線について
8. 大沼 7: 平面上の領域, 区域について
9. 大沼 8: 三角関数について
10. 大沼 9: 関数の極限について(その1)
11. 大沼 10: 関数の極限について(その2)
12. 大沼 11: 連続について(その1)
13. 大沼 12: 連続について(その2)
14. 大沼 13: 数列の極限について(その1)
15. 大沼 14: 数列の極限について(その2)
16. 日置 1: 基礎 1 基本構文(動詞の特性)

17. 日置 2: 基礎 2 基本構文(冠詞の使い分け)
18. 日置 3: 基礎 3 基本構文(名詞の単数・複数)
19. 日置 4: 基礎 4 基本構文(形容詞・副詞)
20. 日置 5: 基礎 5 基本構文(接続詞)
21. 日置 6: 基礎 6 基本構文(仮定法)
22. 日置 7: 基礎 7 基本構文(関係詞・前置詞)
23. 日置 8: 応用 1 長文読解(科学ニュース記事より-1)
24. 日置 9: 応用 2 長文読解(科学ニュース記事より-2)
25. 日置 10: 応用 3 長文読解(世界の研究所 HP より-1)
26. 日置 11: 応用 4 長文読解(世界の研究所 HP より-2)
27. 日置 12: 応用 5 長文読解(基本的なテキストより-1)
28. 日置 13: 応用 6 長文読解(基本的なテキストより-2)
29. 日置 14: 応用 7 長文読解(基本的なテキストより-3)
30. 真壁 1: 演習 1(前置詞 1)・解説 1(時制)
31. 真壁 2: 演習 2(前置詞 2)・解説 2(仮定法)
32. 真壁 3: 演習 3(接続詞)・解説 3(否定)
33. 真壁 4: 演習 4(動名詞・関係詞)・解説 4(強調と倒置)
34. 真壁 5: 演習 5(句と節)・解説 5(分詞構文)
35. 真壁 6: 演習 6(動詞 1)・解説 6(比較)
36. 真壁 7: 演習 7(動詞 2)・解説 7(it と物主構文)
37. 真壁 8: 演習 8(動詞 3)・応用 1(ノーベル賞論文 1: 初期胚の遺伝的制御)
38. 真壁 9: 演習 9(形容詞)・応用 2(ノーベル賞論文 2: 細胞内輸送シグナル))
39. 真壁 10: 演習 10(副詞 1)・応用 3(ノーベル賞論文 3: 細胞周期制御因子)
40. 真壁 11: 演習 11(副詞 2)・応用 4(ノーベル賞論文 4: プログラム細胞死)
41. 真壁 12: 演習 12(名詞 1)・応用 5(ノーベル賞論文 5: 嗅覚受容体)
42. 真壁 13: 演習 13(名詞 2)・応用 6(ノーベル賞論文 6: RNA 干渉)
43. 真壁 14: 演習 14(名詞 3)・応用 7(ノーベル賞論文 7: iPS 細胞?)
44. 最終回: 総括(大沼・日置・真壁)

Evaluation Criteria) 予習してきた英文の和訳の発表による。

Textbook) 講義中に指示する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218494>